

第 2 章

常総市の概況

第2章 常総市の概況

1 位置と地勢

常総市は茨城県の南西部，都心から55km圏内に位置しており，東はつくば市・つくばみらい市，西は坂東市，南は守谷市，北は八千代町・下妻市にそれぞれ接しています。

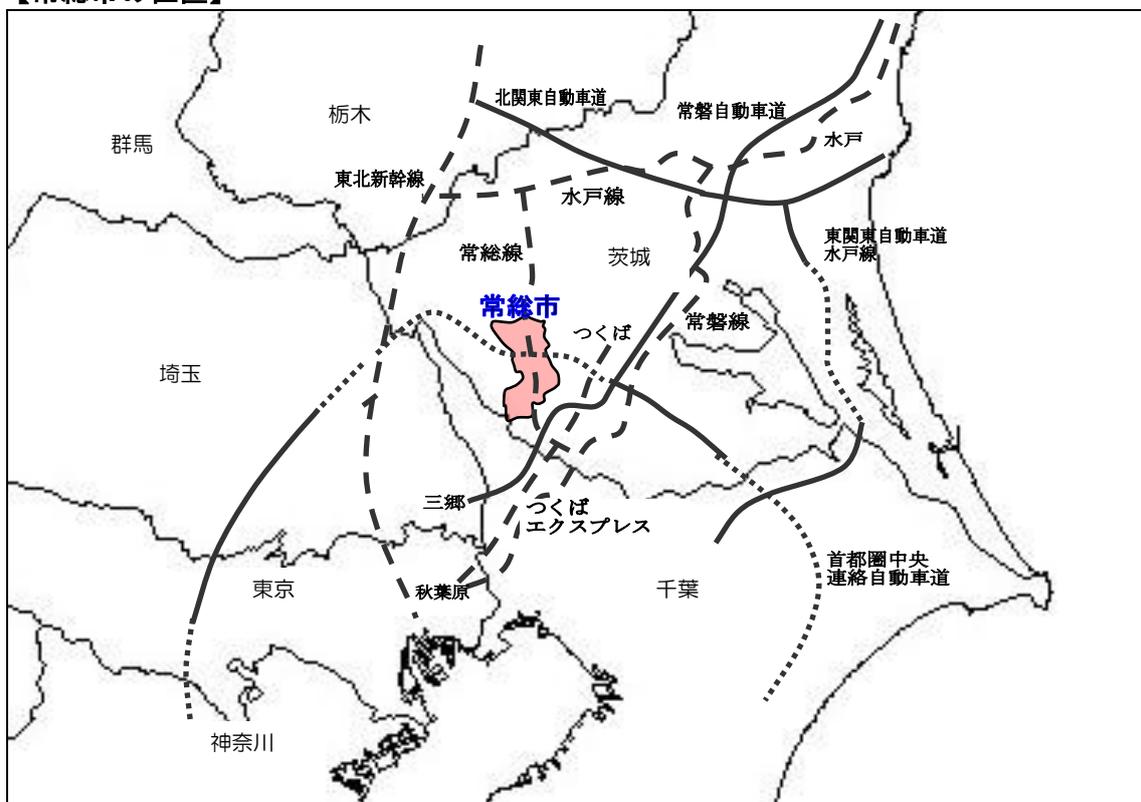
南北は約20km，東西は約10kmの広がりを持ち，面積は，123.52km²です。標高は約5～24mで，気候は，太平洋型の気候であり，四季を通じて穏やかです。

市のほぼ中央には一級河川の鬼怒川が流れており，東部の低地部は広大な水田地帯となっています。西部は丘陵地となっており，集落や畑地，平地林が広がっていますが，住宅団地や工業団地，ゴルフ場なども造成され，近郊整備地帯¹として都市機能の強化も図られています。

道路体系は，市を南北に縦断する国道294号，東西に横断する国道354号があり，周辺市町村と連絡する主要地方道や一般県道が整備されています。さらに，市のほぼ中央部には首都圏中央連絡自動車道と広域道路網の整備が進められています。

また，鉄道については，南北に関東鉄道常総線が走り，取手方面と下妻・筑西方面を結んでいます。

【常総市の位置】



¹近郊整備地帯：首都圏整備法に基づき国土交通省が指定している区域の一つ。ほかには既成市街地と都市開発区域がある。近郊整備地帯は，東京及び隣接する枢要な都市を含む既成市街地の周辺で，その無秩序な市街地化を防止するため，計画的に市街地を整備し，あわせて緑地を保全する必要がある区域とされている。

2 常総市の現況

常総市は、平成18年1月1日水海道市と石下町の合併により誕生しました。

この地域は、鬼怒川・小貝川等の河川と密接な関わりを持ち、河川沿岸の肥沃な土壌を生かした農業や水運等の産業を背景に発展してきました。水海道地区は、鬼怒川の舟運の要衝として発達し、地域の文化・経済の中心地としての役割を担ってきた地域であり、石下地区は、農業、畜産、織物業が盛んで、平将門、長塚節のゆかりの地としても知られる歴史・伝統のある地域として栄えてきました。

近年は、田園都市づくりと工業開発や住宅地開発に取り組み、首都圏における生活拠点及び住宅地供給の役割も担い、利便性の高い快適で安心して暮らせる都市づくりを目指しています。

◇人口

常総市の人口は、平成22年10月1日現在65,320人です。

水海道市は、緩やかに増加してきましたが、平成2年以降はほぼ横ばいとなっています。石下町については年々順調に増加してきましたが、平成7年以降は緩やかな増加となっています。しかし、全体として平成17年から平成22年にかけては減少傾向にあります。

人口の推移

単位：人

区分	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
水海道市	36,679	38,820	40,435	41,715	42,340	42,683	42,015	41,867
石下町	18,473	19,220	20,374	21,532	22,004	23,346	24,230	24,669
計	55,152	58,040	60,809	63,247	64,344	66,029	66,245	66,536

区分	平成22年
常総市	65,320
計	65,320

資料：各年国勢調査

◇年齢別人口

平成22年国勢調査による年齢別人口では、常総市の年少人口は13.6%であり、茨城県平均の13.5%とほぼ同じ状況です。

生産年齢人口も、63.4%であり茨城県平均の64.0%とほぼ同じ状況となっています。

また、老年人口も23.0%であり、茨城県平均の22.5%とほぼ同じ状況になっており、県内44市町村のなかで17番目に高く中位に位置しています。

年齢別人口の状況

単位：人，%

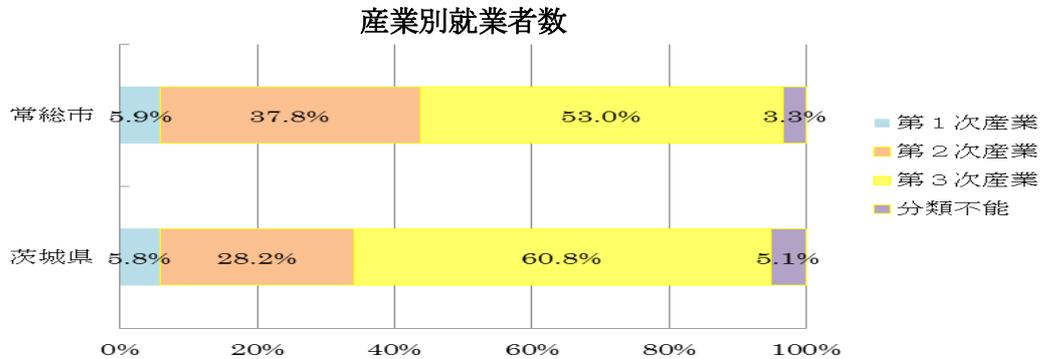
区分	総数	年少人口 (0～14歳)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
常総市	65,320	8,873	13.6	41,425	63.4	15,021	23.0
茨城県	2,969,770	399,638	13.5	1,891,701	64.0	665,065	22.5

資料：平成22年国勢調査

注：総数には年齢不詳を含む。年齢別割合は、総数から不詳を除いて算出。

◇就業人口

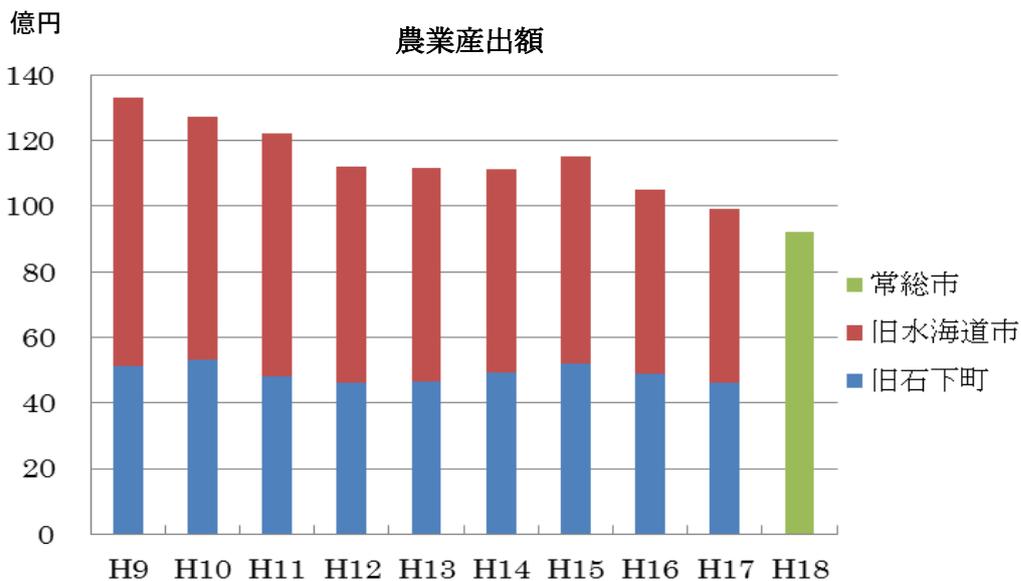
産業別人口の割合では第1次産業5.9%、第2次産業37.8%、第3次産業53.0%となっており、茨城県全体と比較すると、第1次産業はほぼ同じ割合ですが、第2次産業では9.6ポイント高く、第3次産業では7.8ポイント低くなっています。



資料：平成22年国勢調査

◇農業

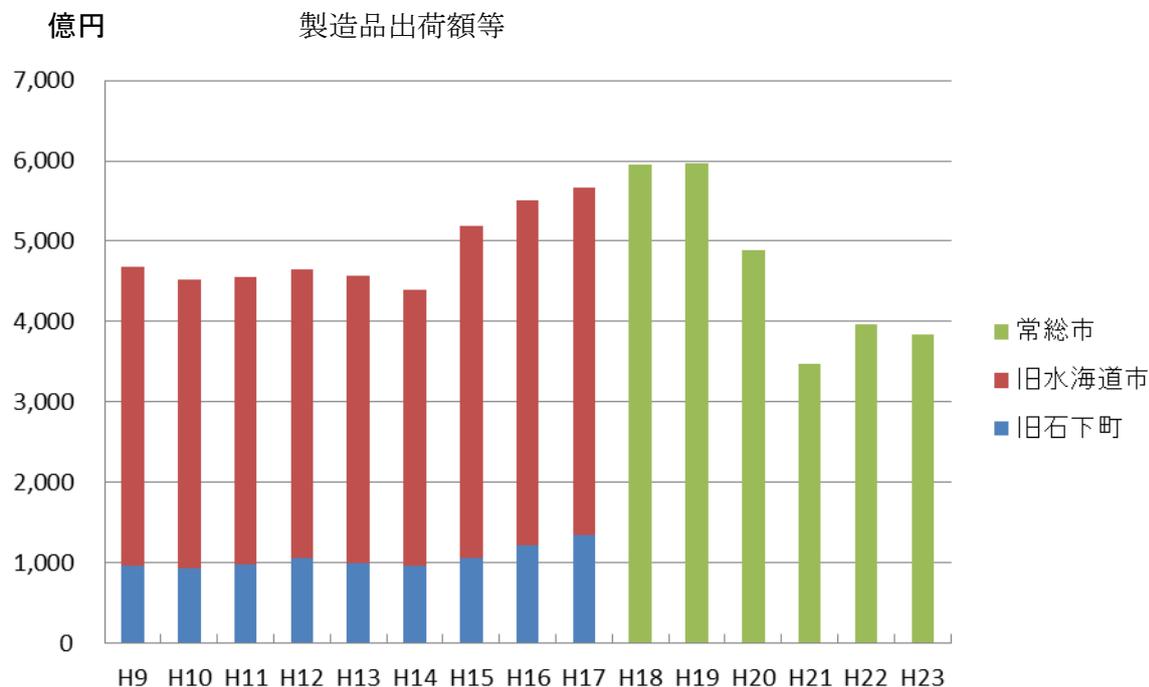
常総市では豊かな水と肥沃な大地に恵まれた環境をいかし、稲作や野菜の栽培などが盛んに行われています。



資料：市統計書，生産農業所得統計

◇工業

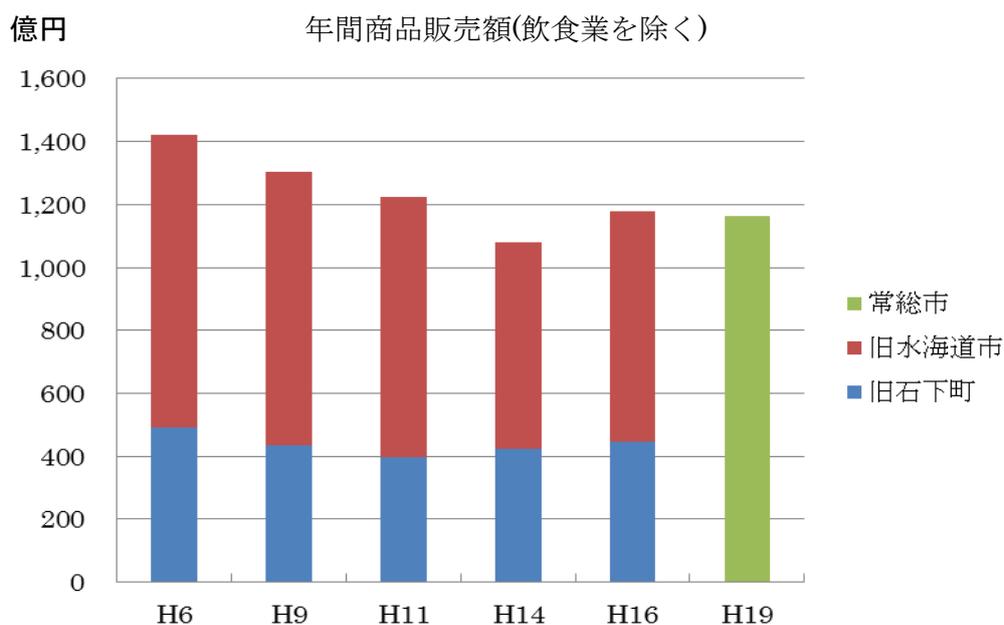
常総市には全域に事業所が点在していますが、製造品出荷額等は、順調に伸び平成19年には約5,976億円になりました。しかし、平成21年に約3,466億円に落ち込みましたが、平成22年には約3,962億円へと持ち直しました。



資料：市統計書，工業統計調査

◇商業

常総市は、十分な購買力人口を擁していますが、長期の景気低迷による消費の冷え込みや、近隣大型商業施設への購買流出が見られ、市内の卸売業・小売業の年間商品販売額は減少傾向となっていますが、平成16年度以降は、ほぼ横ばいです。



資料：市統計書，商業統計調査

3 関連計画

(1) 第5次首都圏基本計画

第5次首都圏基本計画²（平成11年度～27年度）の中で、当地域は、東京都市圏における近郊地域に位置づけられています。

近郊地域は、就業の場を強く東京中心部に依存した東京の通勤圏となっている地域であり、長時間通勤等の問題を解決するためには、この地域において業務、商業、文化、居住等の諸機能がバランスよく配置された自立性の高い地域の形成を推進する必要がありますとされています。

近郊地域には、環状方向に拠点都市群が形成されていますが、東京都市圏北部にある川越市・熊谷市・さいたま市・春日部市・越谷市・柏市・土浦市・つくば市・牛久市を中心とする地域は、都市機能集積の水準や拠点都市相互の連携が不十分であることが指摘されています。そこで、広域連携拠点³として重点的に育成・整備することが示されています。

当地域は、環状方向の拠点都市群である柏市と土浦市・つくば市・牛久市を中心とする地域に挟まれた位置にあります。また、常磐自動車道やつくばエクスプレスなど、都心からの放射状交通体系と隣接する位置にあります。

こうしたことから、国際性、科学技術関連の高度な集積を特色とした、業務核都市⁴を補完する役割や、豊かな自然をいかし、ゆとりと潤いのある職住近接型の居住環境づくりを推進する役割が期待されます。

(2) 茨城県総合計画

茨城県総合計画（改定）「いきいきいばらき生活大県プラン」は、平成23年度から平成27年度までの5年間における県政運営の指針となるものです。

常総市は、県西ゾーンと県南ゾーンに位置付けられています。県西ゾーンの地域づくりの方向としては、「日本を代表する大規模園芸産地づくり」、「広域交通ネットワークの形成を活かした新たな産業拠点づくりと地域産業の振興」、「安心して快適に暮らせる良好な生活環境づくり」、「歴史、文化や豊かな自然環境を活用した交流拠点づくり」、また、県南ゾーンとしては「科学技術の集積や広域交通ネットワークを活かした産業・研究拠点づくり」、「自然と都市が調和した住みよい魅力的な生活環境づくり」、「自然、歴史、科学などを活かした多彩な交流空間の形成」、「豊富な資源の活用による農業等の振興」を推進することが求められています。

²第5次首都圏基本計画：首都圏整備法に基づき策定されたもので、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県及び山梨県）の整備に関する基本的・総合的な計画策定された計画。平成11年3月に決定。

³広域連携拠点：第5次首都圏基本計画において計画された「分散型ネットワーク構造」（首都圏の各地域が拠点的な都市を中心に自立性の高い地域を形成し、相互の機能分担と連携・交流を行う構造）を実現するために位置づけたもの。都市としての諸機能の集積が高く、広域的中心性を有する業務核都市（土浦・つくば・牛久、柏、成田など）、関東北部・内陸西部地域の中核都市圏（水戸や宇都宮など）について、全国的、首都圏全域にわたる広域的な機能を担い連携・交流の要となる「広域連携拠点」としてその育成・整備を図ることとされている。

⁴業務核都市：1985年の国土庁「首都改造計画」において、東京都心部への一極依存構造に代わり、多核多圏域型の地域構造を形成するための圏域として構想された「自立都市圏」の核として位置づけられた都市。多極分散型国土形成促進法に基づき、業務施設集積の受け皿となる業務核都市として承認されると、その中核的施設については、税制面や融資などにおいて優遇措置が受けられる。

(3) 常総地方広域市町村圏計画

常総地方広域市町村圏は、常総市を含む4市で構成されています。

平成20年3月に策定された第五次常総地方広域市町村圏計画では、圏域における将来像を「自然と文化が調和した活気あふれる圏域」とし、恵まれた自然環境を守りつつ、伝統文化の継承や新しい文化を築くことによりうるおいと活気に満ちた魅力ある圏域づくりを目指すこととしています。